

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	市バス運行事業 (120110)			担当課	生活交通課		
	開始年度	平成18(2006)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	井上 浩人		
	歳出費目	款) 総務費	項) 総務管理費	目) 交通対策費	決算附属資料	80	頁	
	施策の大綱	公共交通の最適化			関連計画等	福知山市地域公共交通網形成計画		
	施策名	利用しやすいバス交通を確保する			根拠法令等	道路運送法		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	民間のバス運行事業者の廃止代替路線として、また山間地等の過疎地域における生活交通路線として、高齢者や学生等の運転免許を持たない人の移動手段を確保することを目的とする。						
	対象者	三和、夜久野、大江地域住民及び当該地域への移動のために市バス利用者数	対象者数	42,009	一人当たりコスト	1.61		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 (有)チームワーク						
	事業概要	三和・夜久野・大江地域において市営バスを運行する。三和地域 4路線、夜久野地域3路線、大江地域2路線、大江鬼楽バス5路線を運行する。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		需用費		車両修繕料、車庫光熱水費等			3,116	
役務費		車両法定点検手数料、損害賠償保険料等			139			
委託料		バス運行业務等			58,069			
使用料及び賃借料		バス車庫使用料等			108			
備品購入費、公課費		備品購入費71、公課費165			236			
関連事業	交通空白地域移送サービス支援事業							
予算と執行の状況	区分		H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①	60,669	62,066	54,784	56,052		
		補正予算・・・②	146	△ 398	0			
		繰越し等・・・③	0	0	0	0		
		財源内訳	一般財源	146	0	0	0	
			国支出金	0	0	0	0	
			府支出金	11,766	12,230	9,566	9,498	
			地方債	0	0	0	0	
			その他特財	48,903	49,438	45,218	46,554	
	特定財源名称 (H29実績)	市町村運行確保生活路線維持費補助金		12,327	府補助金	22 頁		
		市バス運行事業基金繰入		41,373	基金繰入金	38 頁		
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	0.76/0	0.76/0	0.76/0	/		
概算人件費・・・④		6,080	6,080	6,080				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤		66,895	67,748	60,864				
執行状況	執行額・・・⑥		60,815	61,668				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	100.0%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		市バス利用者数	人	40,436/56,000	42,009/56,000	/56,000	56,000	
				/	/	/		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		1日当たり市バス運行便数	本	62/62	53/62	/50	30	
		単位あたりコスト		980.9	1,163.5			
		/	/	/				
	単位あたりコスト							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	高齢者や学生等の移動手段の確保とともに、地域活力を維持するために生活路線を維持する必要がある。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	京都府補助金や過疎基金を活用し運行を行っており、市の実質負担額は過疎基金充当額のうち交付税算入見込の70%を除く額であり、コスト負担は小さい。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	利用者は減少傾向にあるが公共交通の地域における効果は費用対効果で測れるものではなく、地域の生活環境を維持する上で最低必要レベルの移送手段を確保する必要がある。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
目的及び指標等の達成状況に対する評価	公共交通は、自動車等の移動手段を持たない交通不便地域の高齢者や学生等にとってなくてはならないものである。しかし、路線バスの利用者数は減少傾向にある中、それぞれの地域に応じた他の移動手段の導入を検討し、転換を図っており、成果実績の達成は困難な状況である。今後、転換の方向性をそれぞれの地域で定めていく中で目標の再設定を検討していく。			
今後の課題及び方向性	福知山市の路線バス再編の基本方針である「福知山市地域公共交通網形成計画」に基づき、市バスについては平成29年度から随時再編を実施しており、具体的には利用が少ない便の減便等を行うが、運行の見直しにより不便になる地域の移動手段確保のために公共交通空白地有償運送の導入について検討を行う。また、バス運賃の改定も視野に入れた収支改善を図ることや、スクールバス導入に伴う一般混乗の検討も行っていく。			
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>三和地域市バス再編により、一部廃線も含めた大幅な見直しを検討しているが、廃線により削減された経費の一部を、みわひまわりライド等の個別輸送による効率的な代替交通モードの導入に充てる方針としている。同時に、小中学校統合により導入されるスクールバスを、廃止路線の代替として一般混乗の路線として運行し、効率的な再編を進める。</p> <p>【H29棚卸しに係る見直し状況】 平成31年4月より、三和地域市バスの見直し及びスクールバスの一般混乗を行い、みわひまわりライドへの転換を推進する。</p>	
	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】		
	<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充			

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	地方バス路線運行事業 (120112)			担当課	生活交通課	
	開始年度	昭和63(1988)	終了予定年度	平成29(2017)	作成責任者	井上 浩人	
	歳出費目	款) 総務費	項) 総務管理費	目) 交通対策費	決算附属資料	82	頁
	施策の大綱	公共交通の最適化			関連計画等	福知山市地域公共交通網形成計画	
	施策名	利用しやすいバス交通を確保する			根拠法令等	-	
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	地域住民に必要な不可欠な生活交通で民間バス路線や民間バスの廃止代替路線を運行する自主運行バス路線の維持確保を図ることを目的とする。					
	対象者	補助対象路線年間利用者数	対象者数	358,879	一人当たりコスト	0.16	
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 バス運行业者、自主運行バス協議会					
	事業概要	・市内で路線バスを運行する事業者に対し、バス路線運行に係る経常費用から経常収入を控除した収支欠損相当額を補助金として交付する。					
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目	具体的な内容			H29経費	
	運行維持費補助金	民間バスの収支欠損に対する補助金			44,929		
	運行維持費補助金	自主運行バスの収支欠損に対する補助金			10,574		
関連事業	関連事業はない。						
予算と執行の状況	区分		H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①	0	0	0	0	
		補正予算・・・②	67,705	55,503	0	0	
		繰越し等・・・③	0	0	0	0	
	財源内訳	一般財源	53,281	49,103	0	0	
		国支出金	0	0	0	0	
		府支出金	14,424	6,400	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他特財	0	0	0	0	
		特定財源名称 (H29実績)	市町村運行確保生活路線維持費補助金	6,429	府補助金	22	頁
					頁		
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	0.23/0	0.23/0	/	/		
	概算人件費・・・④	1,840	1,840				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤		69,545	57,343	0			
執行状況	執行額・・・⑥		67,704	55,503			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	100.0%			
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		市民1人あたりの年間路線バス利用回数	人	6.8/7.0	7.6/7.0	/	7.0
				/	/	/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		補助金額(運行維持費のみ)	千円	52,705/54,762	55,503/54,762	/	54,762
単位あたりコスト			-	-			
	利用促進のための交通環境学習の実施回数	回	1/3	1/3	/	3	
	単位あたりコスト		67,704.00	55,503.00			

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	高齢者や学生等の移動手段を確保するとともに、地域経済を維持するため生活路線を維持する必要がある。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	国、府及び隣接市町と協調して支援を行っており、市単独でその効率性を上げるための工夫は難しい。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	△	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	財政支援を行うことで路線バス等の生活移動手段を維持・確保することができ、市民生活の利便性、地域活力の確保に寄与している。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	路線バスの再編の基本方針となる「福知山市地域公共交通網形成計画」において、民間バス等への支援を始めとする市の財政負担額については、平成27年度額を基本として現状を上回らないことを目標として掲げており、再編の実施期間である平成32年度までに、市の財政負担額について一定の抑制を図りつつ、最大限効率的な再編を行うこととしている。利用者数は全体では増加傾向にあり一定の成果があった。		
	今後の課題及び方向性	福知山市の路線バス再編の基本方針である「福知山市地域公共交通網形成計画」に基づき、平成29年度以降、民間バス路線及び自主運行バス路線についても具体的な再編内容を定めた再編計画を策定し、計画に則り、随時再編を進め、必要な路線の維持とともに効率化を図っていく。 また、同目的事業である市内バス時刻表作成事業及び地方バス路線運行事業と統合し、公共交通維持改善事業とする。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	内 容 平成30年度から、同目的事業である市内バス時刻表作成事業及び地域公共交通会議開催事業と統合し、公共交通維持改善事業として実施しており、平成31年度も同事業の中で引き続き計画に沿って取組を進める。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	市内バス時刻表作成事業 (120115)			担当課	生活交通課	
	開始年度	平成22(2010)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	井上 浩人	
	歳出費目	款) 総務費	項) 総務管理費	目) 交通対策費	決算附属資料	82	頁
	施策の大綱	公共交通の最適化			関連計画等	福知山市地域公共交通網形成計画	
	施策名	利用しやすいバス交通を確保する			根拠法令等	-	
事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	毎年行われる鉄道の時刻改正時に合わせ、バス路線の変更やバス停増設、ダイヤ改正の情報を更新し、市内主要施設での配架を通じて、公共交通利用者及び本市転入者、来訪者に路線バス等の公共交通情報をわかりやすく情報発信し、利用促進を図ることを目的とする。					
	対象者	路線バス利用者	対象者数	600,437	一人当たりコスト	0.00	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉					
	事業概要	市内を運行する民間バス、自主運行バス、市バスの路線及び運行時間等を掲載したバスマップ付時刻表を作成する。また、交通結節点である福知山駅でのバス情報を発信するため、市民交流プラザにおいて路線バス発着時刻表を作成する。					
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目	具体的な内容			H29経費	
	時刻表印刷製本	バスマップ付時刻表作成(7,000部)			552		
	その他手数料	バスマップ配布手数料			34		
関連事業	敬老乗車券事業						
予算と執行の状況	区分		H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①	451	450	0	0	
		補正予算・・・②	543	136	0	0	
		繰越し等・・・③	0	0	0	0	
	財源内訳	一般財源	468	343	0	0	
		国支出金	468	216	0	0	
		府支出金	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	
		その他特財	58	27	0	0	
		特定財源名称 (H29実績)	地域公共交通確保維持改善事業費補助金		260	国補助金	16 頁
		市内バス時刻表広告収入		32	広告収入	42 頁	
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)	0.26/0	0.26/0	0.26/0	/	
		概算人件費・・・④	2,080	2,080	2,080		
	総事業費(①+②+③+④)・・・⑤		3,074	2,666	2,080		
	執行状況	執行額・・・⑥		994	586		
執行率(⑥/(①+②+③)×100)		100.0%	100.0%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		市民一人あたりの年間路線バス利用回数	回	6.8/7.0	7.6/7.0	/7.0	7.0
			/	/	/		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H29	H29	H30	最終目標
		時刻表配布冊数	冊	40,000/40,000	7,000/5,000	/5,000	5,000
単位あたりコスト			0.0	0.1			
		/	/	/			
	単位あたりコスト						

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	本市では、民間、地域、市営等のバスが運行し、すべての情報を合わせて発信することによって、より効果が高い事業である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	△	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	これまで別々に作成していた路線図(マップ)と時刻表と一体化することによってコスト削減を図ることができた。また、民間バス事業者の広告を掲載し、広告費を徴収し、財源確保に努めている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	成果目標は当事業のみの効果によるものではないが、まちなか等の民間バス路線については利用が拡大している。活動実績は作成部数を確実に配布しており有効活用している。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	成果実績については、本事業のみの効果によるものではないため、効果測定は難しいが、近年は着実に路線バス利用者数は増加しており、一定の効果があったと考えられる。	
	今後の課題及び方向性	路線バスの利用は慣れないと難しい面もあり、平成25年度からそれぞれ別々に作成していた路線図(マップ)と時刻表が一体となったものを作成した。しかし、高齢者や観光客に対して、わかりやすく発信できるようさらに工夫する必要がある。また、バス利用者に対してより効果的な情報発信ができるよう、時刻表に、料金表を表示するQRコードを掲載したり、案内観光・交通案内アプリ「森の京都NAVI」のダウンロードの案内を掲載したりし、ICTによる効果的な情報発信を推進している。 また、同目的事業である地域公共交通会議開催事業及び地方バス路線運行事業と統合し、公共交通維持改善事業とする。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
	予算への反映 【財政担当課記入】	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	平成30年度から、同目的事業である地域公共交通会議開催事業及び地方バス路線運行事業と統合し、公共交通維持改善事業として実施しており、平成31年度も同事業の中で引き続き同様の取組を進める。	
		予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	敬老乗車券事業 (120168)			担当課	生活交通課		
	開始年度	平成25(2013)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	井上 浩人		
	歳出費目	款) 総務費	項) 総務管理費	目) 交通対策費	決算附属資料	82	頁	
	施策の大綱	公共交通の最適化			関連計画等	福知山市地域公共交通網形成計画		
	施策名	利用しやすいバス交通を確保する			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	高齢者の通院や買い物等の外出を支援することによって、公共交通の利用促進を図ることを目的とする。						
	対象者	75歳以上の市民	対象者数	10,000	一人当たりコスト	1.50		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉						
	事業概要	市内在住の75歳以上の高齢者を対象に、路線バスや京都丹後鉄道の乗車券3,000円分を500円で購入できる敬老乗車券として販売する。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		負担金補助及び交付金		敬老乗車券を使用した額に対する運行事業者への負担金			10,365	
賃金		臨時職員賃金			1,646			
需用費		消耗品費・印刷製本費・修繕料			248			
関連事業	関連事業はない。							
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		12,293	14,493	13,252	8,797	
		補正予算・・・②		△ 1,182	△ 1,528	0		
		繰越し等・・・③		0	0	0		
	財源内訳	一般財源		8,538	7,519	8,577	4,399	
		国支出金		0	0	0		
		府支出金		0	0	0		
		地方債		0	0	0		
		その他特財		2,573	5,446	4,675	4,398	
		特定財源名称 (H29実績)	みらい戦略一括交付金			4,820	府補助金	22 頁
		過疎基金繰入			2,166	基金繰入金	38 頁	
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.26/0	0.26/0	0.26/0	/		
	概算人件費・・・④		2,080	2,080	2,080			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			13,191	15,045	15,332			
執行状況	執行額・・・⑥		10,643	12,259				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		95.8%	94.6%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		敬老乗車券販売者数	人	1,502/1,500	1,450/1,500	/1,500	1,500	
		市民1人あたりの年間路線バス利用回数	人	6.8/7.0	7.6/7.0	/7.0	7.0	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		敬老乗車券販売冊数	冊	4,083/4,000	3,872/4,000	/4,000	4,000	
		単位あたりコスト		2.6	3.2			
			/	/	/			

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	公共交通の存続は社会問題となっているなか、事業の優先度は高い。また、福知山市は多くの運行事業者が存在することから、行政以外では統一的な実施が困難である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	他市事例を研究した上で、年齢制限を設けるとともに、利用者の視野を広げることを目的に購入制限を設けており、日常的利用者の単なる運賃補助にならないよう工夫している。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	敬老乗車券の利用に対する運行事業者への負担金額よりも、運行事業者の収支欠損分補助額の減少の方が大きく、有効性は高い。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	医療機関や地域での出張販売を行う等のPR活動によって、当初の活動目標であった販売冊数4,000冊を達成し、バス利用者数の拡大につながっている。		
	今後の課題及び方向性	・他市における同様の事業においては福祉施策として実施しているものがほとんどであり、本市においても、現在の公共交通の利用促進という目的から移動困難者の移動手段を確保するという目的の事業として制度内容の見直しを検討する。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】			
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び 予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input checked="" type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	<p>本事業の福祉的観点からの見直しを進めるため、関連事業も含めた制度の再構築を検討中である。 来年度においては、再構築の第1段階として制度を一部改正し実施する。</p> <p>【H29棚卸しに係る見直し状況】 平成30年度に関係課と協議を進めたが、見直しに想定以上の時間を要しており、平成31年度は、再構築の経過措置期間として、現制度の一部を見直した上で、引き続き本事業を継続実施する。</p>	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		